

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名 森林資源活用推進事業		課名	林務課	事業No.	193	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始	H19	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画			地域経済活性化プログラム		
				21世紀の環境プラン		
法令・例規等						
事業目的	対象	住宅建築主、住宅建設業者、住宅設計事務所				
	意図	間伐材を含めた飯田市産材の利用により、森林整備や林業振興を図る				

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田市産材を一定の割合以上使用して、住宅を新築及びリフォームした建築主、施工した市内の工務店・設計事務所に対する補助金交付を行うことにより、木材自給率を高めるとともに、地域材利用の意識高揚を図りました。		住宅の新築・リフォームに対する補助				2,446				
								0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	飯田市産材を使って建てた住宅戸数	戸	12	10	12	9	12	12	12	12	
2年度 決算 (千円)	予算額	3,497	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	2,446									
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
	一般財源	2,446									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	6	3,497	2,446	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識	住宅を建てるには多額の費用がかかるため、使用する材は安価な外材や、流通量の多い他地域材の利用が多いのが現状であり、いかに地元産材の利用を進めるかが課題です。さらなる利用を進めるためには、地域産の木材利用や森林に対する理解を進める必要があります。これまでの活動の検証を行い、地元産材の地域循環につなげる展開が必要です。								
上記の課題解決のための有効策	木材利用や森林に対する理解を進めるため、地域ぐるみによる木づかい運動を展開し、飯田市産材利用の拡大を図る必要があります。								
次年度に向けての取り組み	地元産材の利用を進めるため、飯田市産材に加え、南信州産材（飯田市産混合）を使用して住宅を新築及びリフォームした場合にも補助金を交付することで、木材自給率を高め、まちの木質化につなげます。また木の良さを体感してもらうための機会を創設することで、木材利用の拡大を図ります。								